

石巻北高等学校飯野川校 令和6年度第1回学校評価

目的 今年度の教育目標・学校経営方針に基づき、主に「学ぶ意義や学習の必要性」、「体験と経験」、「自己評価」、「主体性」について、授業や特別活動をとおして生徒に意識させ、身に付けさせる教育活動が実践できているかを調査した。

対象 全年次の生徒及び保護者（教員には実施しなかった）

実施日 令和6年7月17日（水）から7月22日（月）まで

内容 以下の質問（10項目）について、「当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階適合評価で実施した。媒体は生徒はインターネット、保護者は紙媒体とした。

【質問項目】

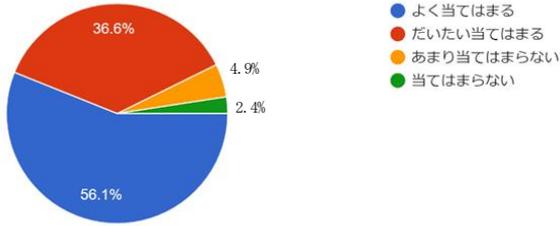
- Q1 授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。
- Q2 国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている。
- Q3 学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている。
- Q4 課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている。
- Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。
- Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。
- Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。
- Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。
- Q9 インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てようとしている。
- Q10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている。

結果 以降のページに生徒及び保護者の回答割合の円グラフを並列で示した。分析については本資料末に記している。

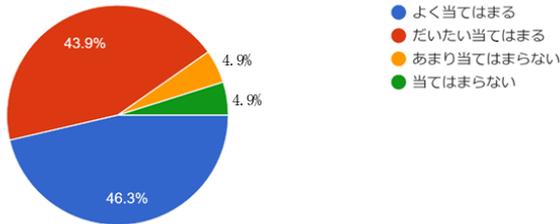
令和6年度 第1回学校評価 「生徒及び保護者回答結果」

【生徒】（回答数：41名 回答率：100%）

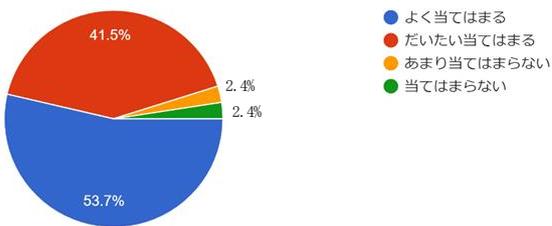
1 授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。
41件の回答



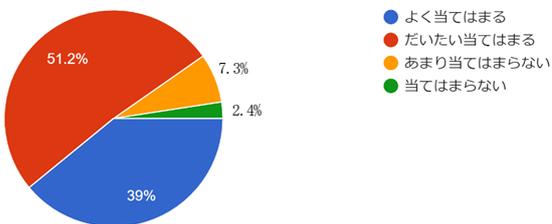
2 国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている。
41件の回答



3 学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている。
41件の回答

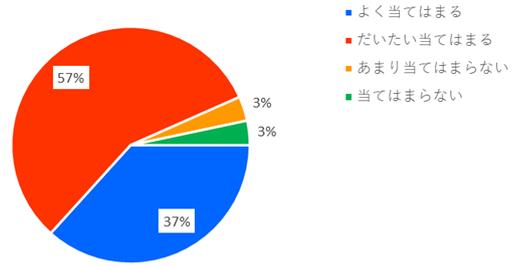


4 課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている。
41件の回答

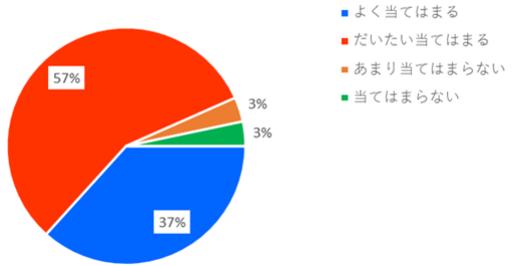


【保護者】（回答数：30名 回答率：75%）

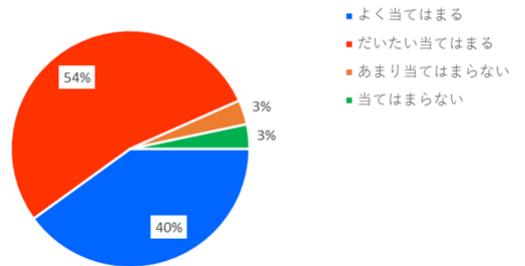
Q1 授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。



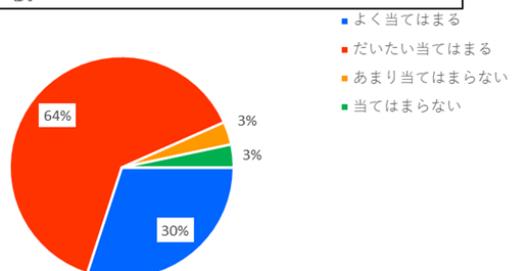
Q2 国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている。



Q3 学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている。

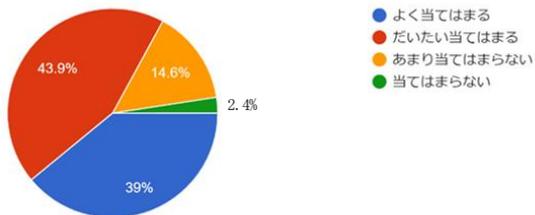


Q4 課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている。

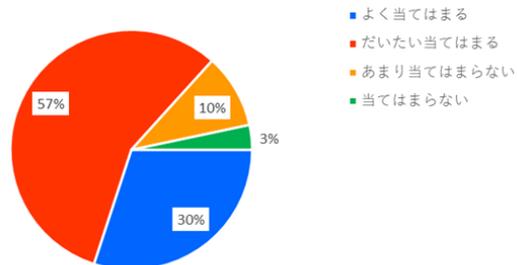


5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。

41件の回答



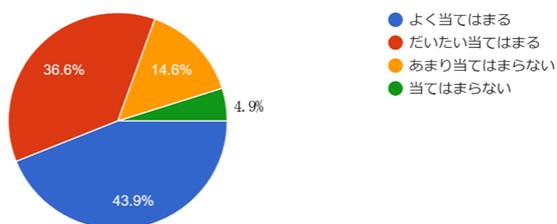
Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。



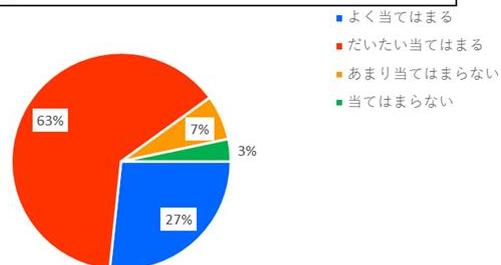
6

様々な活動において、自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。

41件の回答

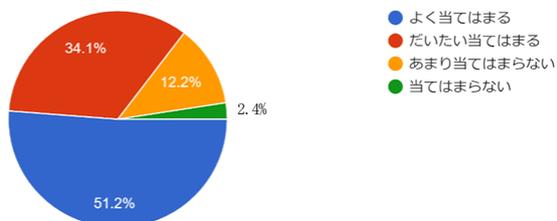


Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。

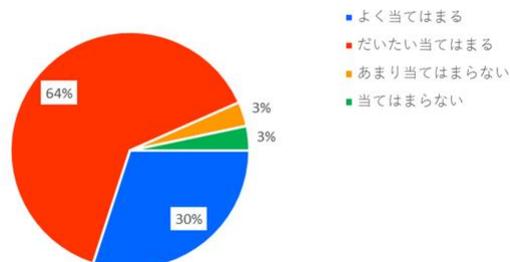


7 様々な活動において、生徒が主体であることを意識できる指導がされている。

41件の回答

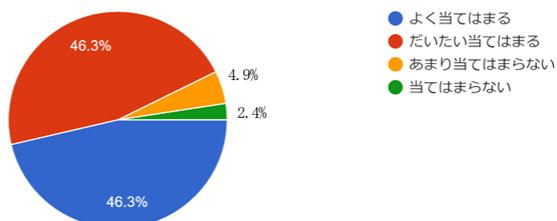


Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。

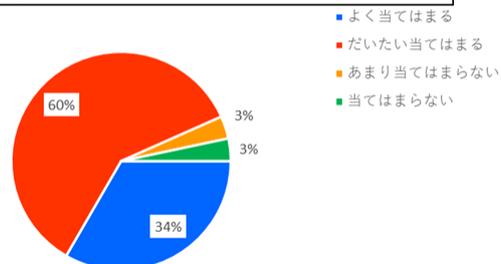


8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。

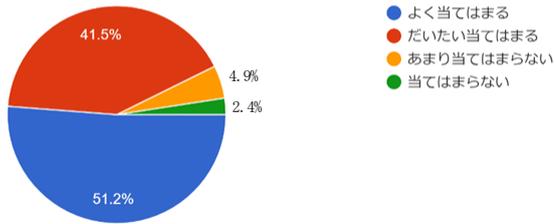
41件の回答



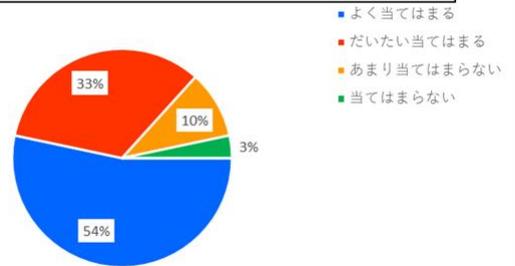
Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。



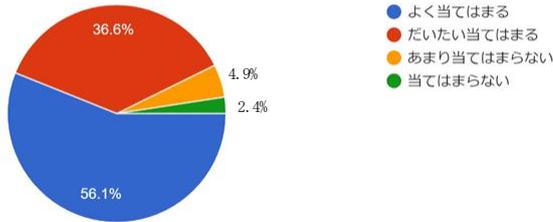
9 インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てよう。
41件の回答



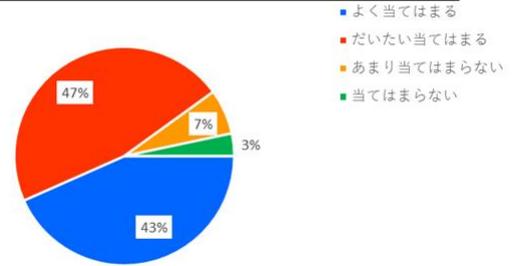
Q9 インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てようとしている。



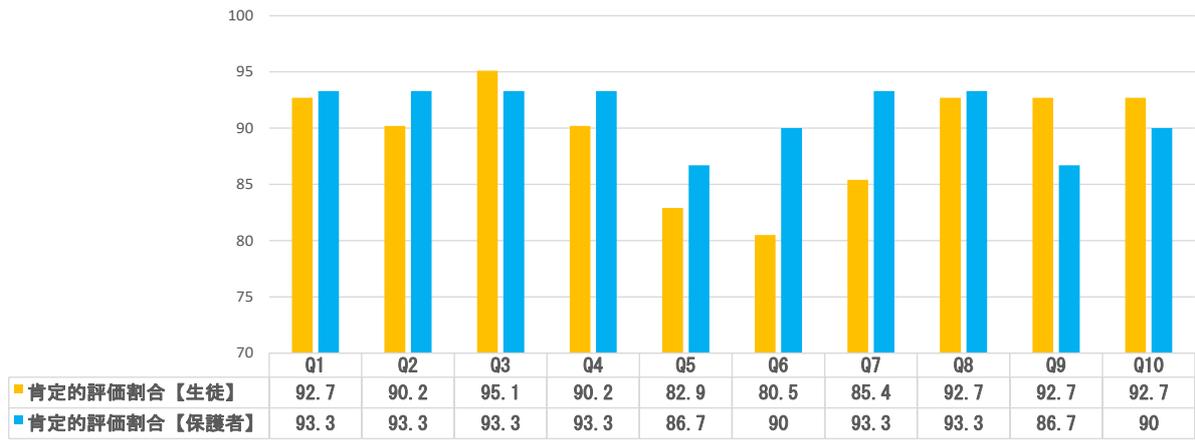
10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になる。
41件の回答



Q10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている。



学校評価 肯定的評価割合 生徒、保護者比較グラフ



※肯定的評価割合：「当てはまる」、「だいたい当てはまる」のいずれかを回答した割合

【分析】

◇どの項目も肯定的評価の割合が高い（生徒平均：89.5%、保護者平均：91.3%）

◇肯定的評価の割合について、生徒と保護者の間には弱い正の相関がみられる（ $r=0.34$ ）

◇生徒及び保護者ともに高評価のもの

「Q1 授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。」

「Q3 学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている。」

「Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。」

◇生徒と保護者の評価の乖離が大きいもの

「Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。」（生徒：80.5% 保護者：90.0%）

「Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。」（生徒：85.4% 保護者：93.3%）

「Q9 インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てようとしている。」（生徒：92.7% 保護者：86.7%）

◆生徒及び保護者ともに評価が低いもの

「Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。」



☆この課題について、今後分析し、改善に向けて取り組む。